

平成29年5月31日

徳島大学病院ホスピタルギャラリーbe 展示のご案内

徳島大学病院[病院長：永廣 信治（ながひろ しんじ）]では、ホスピタルギャラリーbeにおいて、「クレイアート展 動物たちの日常」を開催しています。

（報道概要）


1. タイトル：クレイアート展 動物たちの日常
 2. 期 間：平成29年5月29日（月）～平成29年9月23日（土・祝）
 3. 場 所：ホスピタルギャラリー「be(び・い）」
（徳島大学病院西病棟1階ロビー）
 4. 主 催：徳島大学病院
 5. 協 力：武蔵野美術大学基礎デザイン学科
- ※添付資料（ポスター）をご参照ください

「クレイ」とは、「ねんど」のことです。原田拓史さんは8年前から樹脂粘土、紙粘土、石塑（せきそ）粉粘土を使い、動物たちの小さな世界を作り上げています。作品には設計図もコンテもありません。漠然としたイメージから物語が始まります。やんちゃな犬、のんびりやの熊、優等生の豚、おちゃめなウサギ…。ざわめきは広がり、やがてひとつの世界が誕生します。「自由に形成できるのが粘土の魅力。ジオラマ作品は約30体完成させましたが、まだ満足していません。もっと表現できると思っています。」と原田さんは語ります。作品の中には、わずか1ミリほどの生き物も。探せますか？

このことにつきまして、報道下さいますようお願いいたします。

お問い合わせ先

部局名 徳島大学病院
責任者 病院長 永廣 信治
担当者 病院総務課広報・企画係（大崎）
電話番号 088-633-7698
メールアドレス bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp



「クレイ」とは、「ねんど」のことです。
原田拓史さんは8年前から樹脂粘土、紙粘土、
石塑(せきそ)粉粘土を使い、動物たちの
小さな世界を作り上げています。
作品には設計図もコンテもありません。
漠然としたイメージから物語が始まります。
やんちゃな犬、のんびりやの熊、優等生の豚、
おちゃめなウサギ…。ざわめきは広がり、
やがてひとつの世界が誕生します。
「自由に形成できるのが粘土の魅力。
ジオラマ作品は約30体完成させましたが、
まだ満足していません。もっと表現できると
思っています。」と原田さんは語ります。
作品の中には、わずか1ミリほどの生き物も。
探せますか？

2017
5/29 [月]—
9/23 [土・祝]

主催: 徳島大学病院 協力: 武蔵野美術大学基礎デザイン学科
監修: 武蔵野美術大学 基礎デザイン学科教授・板倉孝明
第25回を迎える今回は、武蔵野美術大学の監修により、展覧で活躍する
地元作家の作品展とさせていただきます。

Hospital
Gallery

be

ホムビタル キャラリー【ビー】
徳島大学病院 西病棟1階ロビー

クレイ アート展

動物
たち
の
日
常